

出雲市総合振興計画

出雲新話 2030

前期基本計画〔参考資料〕

(令和4年度～令和6年度)

(2022)

(2024)



計画策定の趣旨

基本計画から抜粋

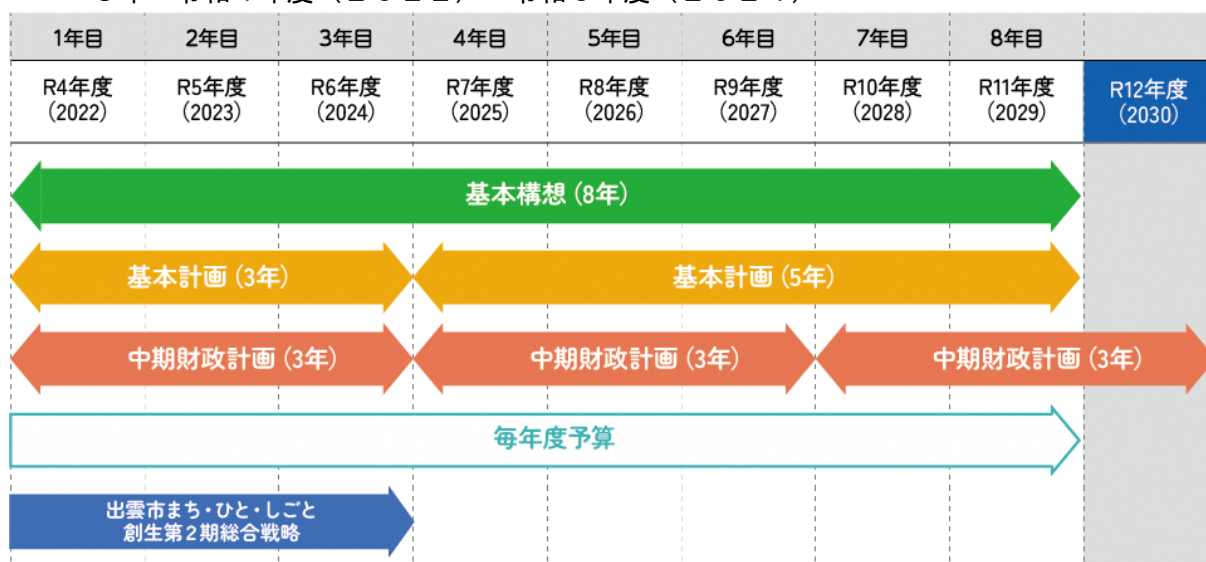
1. 目的及び位置づけ

本計画は、出雲市総合振興計画「出雲新話2030」の将来像実現をめざし、前期3年間の基本的な施策・事業を体系的に示すものです。

「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」や各分野で策定された計画等と整合性を図るとともに、「出雲未来図」の評価検証結果を踏まえ策定しました。

2. 計画期間

3年 令和4年度（2022）～令和6年度（2024）



3. 基本計画の構成

基本方策	まちづくりの施策*	記載内容
1 ともに創る	01～05	基本的方向 施策の方針、方向性
2 ともに守る	06～07	※該当する基本方策とSDGs取組番号を記載 現状と課題
3 ともに結ぶ	08～12	基本的方向ごとの現状と課題の整理
4 ともに支える	13～21	具体的施策（令和4年度～令和6年度） 現状・課題を解決するための施策及び事業
5 ともに育む	22～23	まちづくりの指標
6 ともに楽しむ	24～27	施策の達成度を検証するための数値目標 （重要業績評価指標・KPI）

※まちづくりの各施策名は7頁のとおり

【まちづくりの指標（重要業績評価指標・KPI）の見方及び設定の考え方】

次の条件を基本に記載し設定しています。

(1)設定の根拠の分類

- ① 「まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」（以下、総合戦略）
- ② 個別計画
- ③ 新規設定

①総合戦略（計画期間：令和2年度(2020)～令和6年度(2024)）

前期基本計画は総合戦略との整合性を図るため、総合戦略に記載のある指標を原則採用しています。令和6年度の数値目標は検証の結果、変更しているものもあります。

令和11年度は計画期間ではないため、数値目標を新たに設定しています。

②個別計画

個別計画に指標の記載がある場合は、原則採用しています。

※個別計画の計画期間の終期が、令和6年度あるいは令和11年度ではない場合は、当該個別計画の最終年度の表記のみ記載している場合があります。（(B) (C)の年度表記を変更）

①②について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、目標値を変更したのものもあります。

③新規設定

前期基本計画で新たに設定した指標です。

	(A) 現状値	(B) 令和6年度	(C)令和11年度
①総合戦略	総合戦略で定めた指標のR3年度の値 (単年度又は累計)	総合戦略で定めた指標のR6年度目標値	(目標値を新たに設定)
②個別計画	個別計画で定めた指標のR3年度の値 (単年度又は累計)	個別計画で定めた指標のR6年度目標値 ※	個別計画で定めた指標のR11年度目標値 ※
③新規設定	R3年度の値 (単年度)	上段 単年度 下段 (R4年度からの累計)	上段 単年度 下段 (R4年度からの累計)

これらの設定によらないものは、別途説明を付記しています。

(2)共通事項

- 現状値＝令和3年度の数値を原則記載しています。令和3年度でない数値の場合は、注記しています。
- 目標値として採用した数値が、総合戦略など他の計画から引用している場合は、その計画名を記載しています。

○まちづくりの指標とした内容及びその算出根拠については、毎年度の検証が円滑に行えるように、可能な限り簡潔に掲載しています。

○次の事業については、まちづくりの指標の設定が困難なため、設定していません。

ア 国・県事業等、市が主体となつてできない事業または外的要因の影響が大きい事業

イ 長寿命化改修工事等、終期なく維持修繕を行う事業

ウ 一つ一つの案件について、その都度合意形成を図る事業

4. 推進体制

基本計画については、施策ごとに PDCA サイクル（計画・実行・評価・改善）による点検・評価検証を毎年度実施します。

必要に応じて、施策内容や目標値を見直すことで、より効率的で効果的な施策を実施します。

また、SDG s（持続可能な開発目標）への取組を意識した視点も持ち、施策を推進します。



5. 施策の体系

まちづくりの将来像

「出雲力」で 夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち

【 施策体系図 】

まちづくりの施策（取組）		ともに創る	ともに守る	ともに結ぶ	ともに支える	ともに育む	ともに楽しむ
01	海・山・大地の恵みを生かす	★ ●	○	○	○	○	○
02	“出雲”の「ブランド力」で価値を高める	★ ●	○	○	○	○	○
03	地場企業が地域を支える	★ ●	○	○	○	○	○
04	多種多様な企業立地を	★ ●	○	○	○	○	○
05	「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を“前へ”	★ ●	○	○	○	○	○
06	誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	★ ○	●	○	○	○	○
07	未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ	○	●	○	○	○	○
08	期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	★ ○	○	●	○	○	○
09	「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	★ ○	○	●	○	○	○
10	ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	★ ○	○	●	○	○	○
11	あのまち・このまち 出雲を結ぶ	★ ○	○	●	○	○	○
12	いにしへの「財（たから）」を守り、活かす	○	○	●	○	○	○
13	「産みたい」「育てたい」を応援	★ ○	○	○	●	○	○
14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	★ ○	○	○	●	○	○
15	いつまでも元気、ずっと現役で	★ ○	○	○	●	○	○
16	誰もが大切にされる社会をめざして	★ ○	○	○	●	○	○
17	ぬくもりのある福祉サービスを	○	○	○	●	○	○
18	地域特性を生かして安心な医療を	○	○	○	●	○	○
19	地域とともに持続可能な中山間地域を	★ ○	○	○	●	○	○
20	出雲のインフラを整え「安心」を支える	○	○	○	●	○	○
21	デジタルの力で未来をデザイン	○	○	○	●	○	○
22	家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	★ ○	○	○	○	●	○
23	人が地域を、地域が人を育てる	★ ○	○	○	○	●	○
24	芸術文化で豊かな出雲を	○	○	○	○	○	●
25	スポーツで元気な出雲を	○	○	○	○	○	●
26	誰もの「学びたい」を実現	○	○	○	○	○	●
27	出雲の魅力、発信します	★ ○	○	○	○	○	●

※★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」に記載

ここでは基本方策1「ともに創る」を掲載しています。

方策 連番	基本方策	施策名		小項目	基本的方向
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番	
1	ともに 創る	1	海・山・大地の恵みを生かす	1	新しい農業のカタチへの挑戦 → 次ページに掲載
				2	農村環境を次世代へつなぐ
				3	「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ
				4	農福連携で相乗効果を
				5	循環型林業で新たな道を“伐り”拓く
				6	豊かな海の恵みのタスキをつなぐ
		2	“出雲”のブランド力で価値を高める	7	出雲の“誇り”を全国・世界へ発信
				8	「おいしい出雲」でご縁をつなぐ
				9	海・山・大地の恵みに新たな発想を
		3	地場企業が地域を支える	10	ネットワークで中小・小規模企業の未来を創る
				11	創業支援で夢を叶える
				12	ご縁の力で国内外へビジネスチャンスを拡大
				13	産学官金連携で新商品・新サービスを開発
				14	“きらり”と光る事業者やノウハウを次世代につなぐ
		4	多種多様な企業立地を	15	「出雲で働きたい」を叶える
				16	「魅力度No.1」の企業立地環境を
		5	「人財力（じんざいりょく）」で 地域産業を“前へ”	17	「企業とのご縁」を結ぶ
				18	「帰ってきたい」を全力サポート
				19	「働き続けたい」を100%に
				20	IT人材が育ち、集まるまちへ
				21	出雲で進学の夢を叶える

6つの基本方策があります。

27のまちづくりの施策があります。





115の基本的方向があります。

ともに創る

01 海・山・大地の恵みを生かす

基本計画から抜粋

(まちづくりの施策)

1 基本的方向	現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)										
<p>【新しい農業のカタチへの挑戦】</p> <p>AI(人工知能) やICT等の先端技術を活用したスマート農業の推進や、付加価値をつけた販売展開の強化など、生産から販売までの様々な取組を関係者が一体となって進め、基幹産業である農業や、畜産業の持続的な発展をめざします。</p>	<p>○農業従事者の高齢化等により担い手が減少しており、スマート農業等により、農作業の省力化を進める必要があります。</p> <p>○平野部や中山間地域、施設栽培などそれぞれの栽培環境に適したスマート農業の普及が必要です。</p> <p>○国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクト(出雲地域：ぶどう、斐川地域：水田農業)により、作業の省力化や所得向上などの成果が確認できました。</p> <p>○みどりの食料システム法が施行され、環境負荷低減に向けた取組を進めていく必要がありますが、収量の減少、除草対策、作業負担の増加などの課題があります。</p> <p>○出雲のブランド力を活用した農畜産物の販売展開が進んでいます。</p>	<p>○スマート農業技術の効果等のPR(現地説明会等)による普及を推進</p> <p>○新出雲やレンジ事業等の各種補助事業により、スマート農業機械の導入を支援</p> <p>○中山間地域におけるスマート農業の普及による農作業の省力化を推進</p> <p>○スマート農業と環境負荷低減を組み合わせた技術の普及を推進</p> <p>○みどりの食料システム戦略に対応した農業技術の調査・研究及び取組を推進</p> <p>○出雲ブランドを活用した販売展開の拡大・強化</p> <p>○農畜産物の「おいしい出雲」や「ふるさと納税返礼品」への登録拡大</p>	<p>国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトで効果のあったスマート農業機械(自動操舵システム、水田センサー、農業用ドローン、環境モニタリングと自動換気システム)の導入経営体数(累計)</p>										
			<table border="1"> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>令和6年度</td> </tr> <tr> <td>27経営体</td> <td>45経営体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60経営体</td> </tr> </table>	現状値	目標値	令和3年度	令和6年度	27経営体	45経営体		令和11年度		60経営体
現状値	目標値												
令和3年度	令和6年度												
27経営体	45経営体												
	令和11年度												
	60経営体												
													
													
													

基本的方向は、「総合振興計画「出雲新話2030」」に掲載しています。

現状・課題や具体的施策を基本計画に記載しています。

重要業績評価指標 (KPI) を掲載しています。
 KPIの進行管理は、行政改革課が毎年実施している事務事業評価を活用して行います。
 令和6年度は前期基本計画の最終年度、令和11年度は後期基本計画の最終年度です。